

What's in the Box : 内容物

- ・トランクラック × 1 台
- ・SeaSucker 真空マウント × 4 個
- ・落下防止用ベルト × 1 本
- ・ギャランティカード × 1 枚

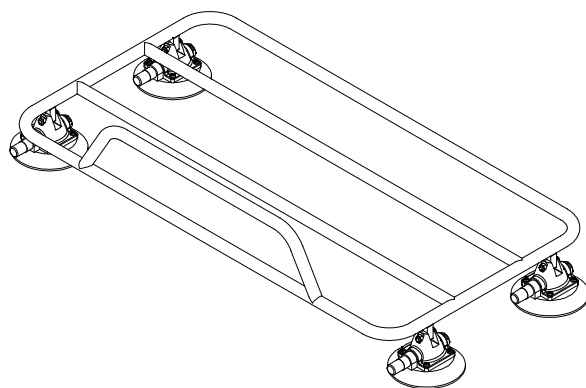
※荷物の固定用ベルトは付属しておりません。

REGAR TRUNK RACK

REGAR JAN/2025

取り付け場所

トランクラックは、車の2シータータイプやセダンタイプのトランク部に取り付けように設計されています。その他の用途にて使用しないで下さい。ラックの各真空マウントは、清潔で凹凸のない金属またはガラスの表面に取り付ける必要があります。真空マウントは、継ぎ目やその他素材をまたぐ箇所、湾曲した箇所には取り付けられません。



Attaching Your Rack - ラックの取り付け方法

Clean and Pump : クリーニングとポンプ

- 1) ラックを取り付ける表面をきれいにします。ほこりや汚れが付着していると SeaSucker の真空性、吸着力に影響を与えます。
 - 2) 各真空マウントからプロテクトカバーを取り外し、ゴム製の真空マウントに損傷や汚れがないかを確認します。破損がみられる場合は、ラックを使用しないでください。
 - 3) 真空マウントが汚れている場合は、中性洗剤を水で薄めた溶液と柔らかい布またはスポンジで掃除して下さい。
 - 4) SeaSucker 真空マウントとラックの接続部分に可動域 (図 1) があるのでトランクの形状に合わせることができます。真空マウントを取り付け面に密閉するように押しつけ、4つの真空マウントを①～④順番 (図 2) に仮止めします。その際、ラック本体をしっかり押し下げ、真空パッドの全周が取り付け面に完全に密着されていることを確認してください。
 - 5) ポンプが跳ね返らなくなり、インジケーターバンド (オレンジ色の部分) がポンプシリンダー内に隠れるまで繰り返しポンピングします。ラック上の全ての真空マウントも同様に取り付けてください。
 - 6) 最後にラックとトランクを付属の落下防止用ベルトでトランクの内側に通し固定して下さい。(図 3)
- ※荷物固定用ベルトは付属しておりませんのでお客様でご用意ください。

※ ポンプが本体に収まらない場合、またはポンピング直後に伸び続ける場合は、取り付け面・真空マウント・ポンプに対してクリーニングやメンテナンスを行ってください。また、ラックの位置をより適切な取付位置へ移動して下さい。

※ 問題を解決せずにラックを使用しないでください。ラックの脱落につながり危険です。

インジケーターバンド
(オレンジ色の部分)

ポンピング

図 2)

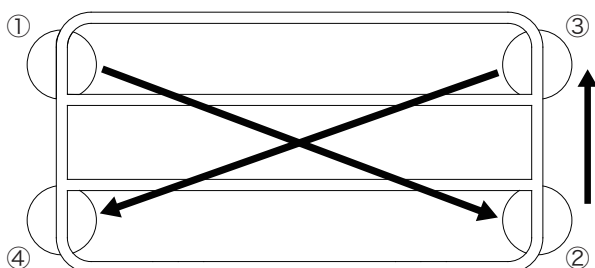


図 1)

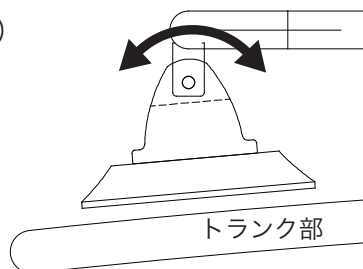
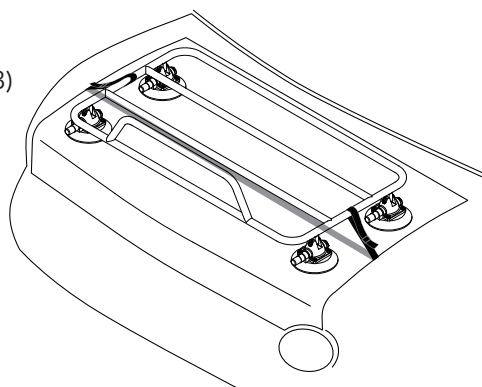


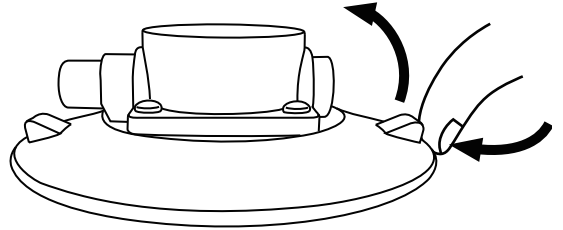
図 3)



ラックの取り外し方とカバー

指先で SeaSucker の真空マウントのタブを取り付け面から持ち上げ、真空状態を解放します。

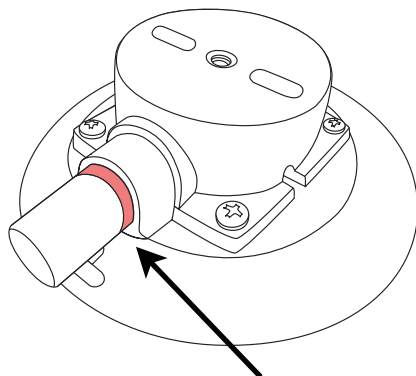
- ※ ラックを車に取り付けていないときは、必ず真空マウントにプロテクトカバーを取り付けて真空マウントのゴム部分を保護してください。
- ※ 収納前にパッドが保護カバーに完全に収まっていることを確認してください。真空マウントが保護カバーに完全に収まっていないと、真空マウントの端が損傷したり変形したりする可能性があります。



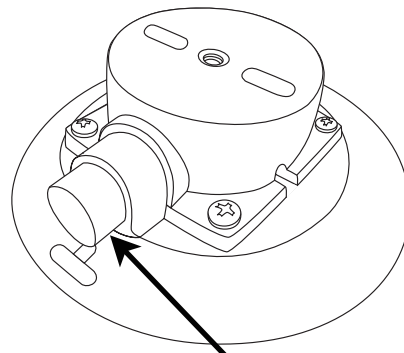
SeaSucker 真空マウントは、車に恒久的に取り付けることを意図したものではありません。時間の経過とともに真空が失われます。真空マウントが真空を失うと、ポンプのプランジャーを伸ばしてオレンジ色のバンドを露出させて警告します。使用中は真空マウントを監視する必要があります。車に乗り降りするときは、ラックの真空マウントにインジケーターバンドが見えるかどうかを確認してください。バンドが見える場合は、上記の手順で SeaSucker を再度ポンピングしてください。

インジケーターバンド（オレンジ色の部分）が最大強度までポンピングしてから 4 時間以内に見えてしまう場合は、クリーニング、メンテナンス、または再配置が必要な場合があります。ラックが真空を保てない表面に取り付けられている場合は、ラックをより適切な位置に移動します。取り付け面や真空マウントが汚れている場合は、清掃してください。これらの手順を実行しても真空マウントの吸着力に改善が見られない場合は、問題が解決するまで使用を中止してください。劣化や消耗した真空マウントのポンプは、必要に応じてラックに付属のスペアと交換してください。

追加の交換部品は、オンラインストアの交換部品ページにて購入できます。



ポンピングが必要



真空状態

SeaSucker Japan
オンラインショップ



SeaSucker Japan
公式ショップ



リガーマリンショップ
楽天市場店

気象条件

SeaSucker 製品は寒い季節にも使用できます。

真空マウントは、低温では硬くなります。真空マウントは取り付け時に取り付け面に密着させる必要があるため、使用前にラックを室温（16 度程度）で保管することを強くお勧めします。真空マウントが冷えすぎることによってパッドが硬くなり、適切に取り付けることが出来ません。取付面には、真空マウントが完全に密閉するのを妨げる可能性のある氷、雪、汚れ、およびその他のものがあってはなりません。凍結温度では、真空マウントの端を水で湿らせてはいけません。

雨や雨天が SeaSucker ラックの性能に影響を与えることはありません。雨や水が真空ポンプの中に入った場合は、プランジャーを引き出して、きれいなペーパータオルでポンプシリンダーの内側を乾かします。必要に応じてプランジャーシールを潤滑油チューブで注油し、プランジャーをポンプシリンダーに再度挿入します。

ネジやその他の金属部品にサビや腐食がみられた場合は部品を交換してください。

お手入れとメンテナンス

SeaSucker ラックを最大限に活用するには、定期的に検査し、真空マウントのプロテクトカバーを付けて保管してください。

- ・すべてのネジがしっかりと締められていることを確認します。
- ・真空マウントは使用前に毎回スポンジまたは柔らかい布、中性食器用洗剤、水で洗浄してください。このとき、刺激の強い溶剤や研磨性のクリーニング パッドは使用しないでください。真空パッドの端の部分の剛性、亀裂、粗さ、または切れ目を確認します。損傷した真空パッドは交換してください。
- ・ポンプは定期的に掃除する必要があります。本体からまっすぐ引き抜き、シリンダーの内側を食器用洗剤と柔らかい布またはペーパー タオルで拭いてください。その後、シリンダー内を完全に乾かします。シリンダー内に水が残っていると、ポンプの逆止弁機能が妨げられる場合があります。
- ・プランジャーをきれいに拭き上げ、プランジャーの先端にある黒いゴム製シールを、ラックに付属の潤滑油チューブなどのシリコンベースのゲル潤滑剤の薄い層で再潤滑する必要があります。洗浄後、プランジャーを押し戻します。シリンダーを数回ポンピングして、適切に装着し、潤滑剤を分配します。

※交換用の SeaSucker 真空マウント、バキュームポンプ、および潤滑油チューブは、弊社のオンラインショップにてご購入いただけます。

**ラックに付属の潤滑チューブは、真空ポンプのメンテナンス専用です
真空マウントに潤滑剤を塗布しないでください**

右の QR コードよりメンテナンスの方法が
ご確認いただけます。

<https://youtu.be/KzTsJyWAAzc>



使用上の注意事項

- ・制限速度を超えないようにしてください。
- ・最大荷重 約 20 kg を超えて運ばないでください。
(最大荷重はラック本体のものであり、取り付け面の強度が不足する場合はこの限りではありません。)
- ・SeaSucker のポンプにあるインジケータバンドが露出している場合は使用しないでください。
- ・ラックのすべてのマウントが完全に吸着している状態を少なくとも 4 時間維持できない場合は、使用しないでください。
- ・取り付け前に取り付け面を清掃してください。
- ・取り付け前に真空マウントをきれいに清掃してください。
- ・真空ポンプは定期的に洗浄し、注油してください。
- ・ネジ、ナット、およびボルトを定期的に検査し、必要に応じて締め直してください。
- ・使用しないときは、真空マウントがプロテクトカバーに完全に収まっていることを確認してください。
- ・十分なスペースを確保せずに、屋根に荷物を載せたまま車庫等に車を駐車しないでください。

以下の車には使用しないでください

- 1) 車のボディーなどの塗装などが劣化している車両
- 2) 再塗装をした車両
- 3) 塗装リコールなどのあった車両
- 4) ラッピングフィルムで装飾をした車両
(ラッピングフィルムごと真空マウントが数付く力で、シワや劣化を起こす可能性があるため)
- 5) プロテクションフィルムを施工した車両
(プロテクションフィルムごと真空マウントが数付く力で、シワや劣化を起こす可能性があるため)
- 6) ワックスで施工した車両 (真空マウントが横滑りする可能性があるため)
- 7) ガラスコーティングを施工された車 (施工した技術者、方法、施工後の経過時間によってもムラがあるため)
- 8) カーボン素材のボディー
- 9) ピンテージカー・旧車などの、塗装から時間の経過している車両
- 10) 車両天井の板厚の薄く、簡単にボディーなどがへこんでしまう車両

所有者の責任事項

- ・このユーザーマニュアルの指示を読み、それに従う必要があります。
- ・ラックを車両に正しく取り付け、使用前に毎回確認し、必要なメンテナンスを行う必要があります。
- ・ラックを車両に正しく取り付けることは非常に重要であり、使用者の責任にて管理してください。
- ・荷物をラックに正しく取り付けることは非常に重要であり、使用者の責任にて管理してください。
- ・車両に乗り降りするときは、すべての SeaSucker のインジケーターバンド（オレンジ色の部分）を検査する必要があります。
- ・ラックのポンプが完全に吸着しているかを確認し、インジケーターバンド（オレンジ色の部分）が見える場合は、ラックを使用する前に SeaSucker を再度ポンプする必要があります。
- ・少なくとも 4 時間真空を保持しない SeaSucker 真空マウントはクリーニング、修理、または交換が必要になる場合があります。ラックには予備の SeaSucker 真空ポンプが付属しています。誤ってラックを損傷した場合に備えて、ラックと一緒に保管してください。
- ・掲示されているすべての法定速度制限と交通状況に従わなければなりません。
- ・運転スタイルと速度を、道路状況、気象条件、SeaSucker ラックの負荷に合わせて調整する必要があります。
- ・SeaSucker は取り外すことが前提になっている製品であり、これらが守られない場合、走行中にラックが脱落し重大な事故につながる可能性があります。日本の法令及び道路交通法に準じて、上記内容を必ず順守してください。

トラブルシューティングガイド

問題	問題点	修正方法
ゆっくりと空気が入る	取付面 及び 真空パッドの乾燥	取付面 及び 真空パッドを湿らせる
	真空パッドの傷	真空パッドを交換する
	ポンプ内の汚れ	ブランジャーとポンプシリンダーを洗浄し、再潤滑する
	ポンプ内の乾燥	ブランジャーシールを再潤滑する
	真空パッドの汚れ	きれいな布と水で拭き上げる
	取付面の汚れ 又は 凹凸	取付面の清掃 又は 適切な場所に移動させる
すぐに空気が入る	真空パッドの損傷	真空パッドを交換する
	ポンプの損傷	真空ポンプを交換する
	取付面の汚れ 又は 凹凸	取付面の清掃 又は 適切な場所に移動させる
ポンプの詰まり または 動きの鈍さ	ポンプ内の乾燥	ブランジャーシールを再潤滑する
	パッドの空気穴が塞がっている	汚れやゴミを取り除く ブランジャーとポンプシリンダーを洗浄し、再潤滑する
	ポンプ内の汚れ	ブランジャーとポンプシリンダーを洗浄し、再潤滑する

製造販売元

株式会社リガーマリンエンジニアリング

〒511-0283

三重県いなべ市大安町南金井 1732 番地

WEB : <http://www.regar.co.jp>

TEL : regar@regar-m.jp

(Powered by )